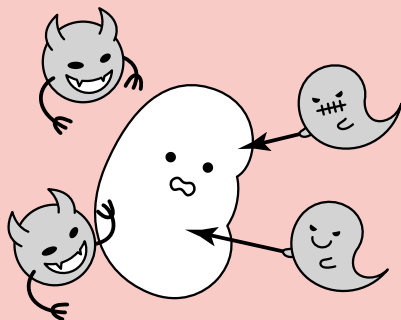


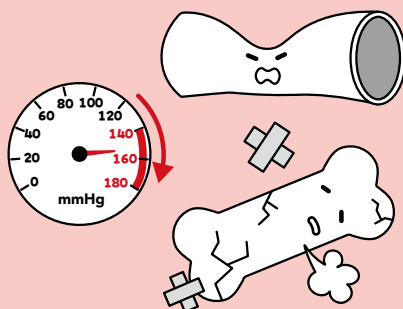
服薬は大切な自己管理

慢性腎臓病（CKD）の薬物療法の目的は主に以下の3つです。

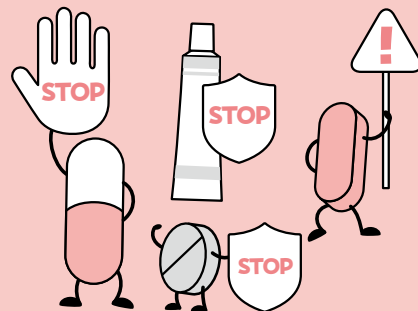
CKDの原因と
なっている病気の治療



腎臓が弱ることで
起きる症状を改善する



病気の進行や
合併症を予防する



薬の使い方の基本

食前

目安

食事の60～30分前
胃の中に食べ物が入っていない時

食後

目安

食後30分以内
胃の中に食べ物が入っている時

食間

目安

食事の2時間後
食事と食事の間
※食事の最中ではありません

就寝前

目安

就寝30分前

頓服

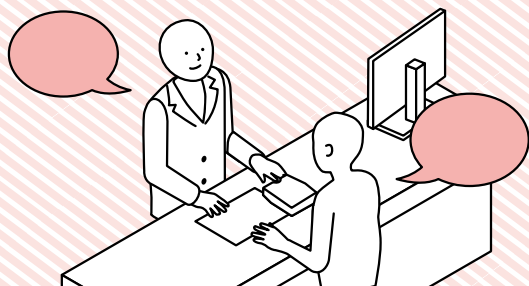
目安

発作時や病状が
ひどい場合



薬と付き合うポイントその1

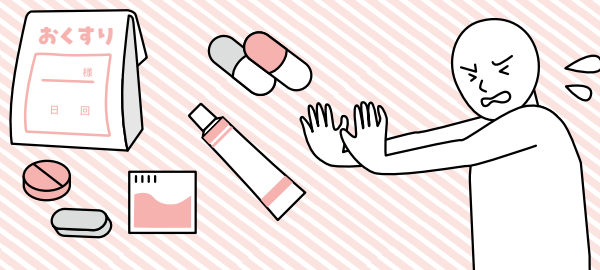
かかりつけ薬剤師・薬局を活用



総合的に相談できる身近ないつもの薬局を
作ることをおすすめします。

薬と付き合うポイントその2

薬を勝手にやめない



急に薬をやめると、反動からかえって
症状が悪化する場合もあり危険です。

監修

酒井 謙

東邦大学医療センター 大森病院 副院長 腎センター 主任教授

濱崎 祐子

東邦大学医療センター 大森病院 腎センター 教授

北島 幸枝

日本腎栄養代謝研究会、東京医療保健大学 医療保健学部 医療栄養学科 准教授

坂本 杏子

日本腎栄養代謝研究会、医療法人惺陽会 札幌ふしこ内科・透析クリニック 栄養部 部長



みんなで作ろう、これからの医療

with Kidney プロジェクト

<https://www.jinlab.jp/withkidney/>

患者と医療者がつくった腎臓病とのつきあい方ガイド

運営

一般社団法人
ピーベック



P PeCC
ピーベック

<https://ppecc.jp/>

制作

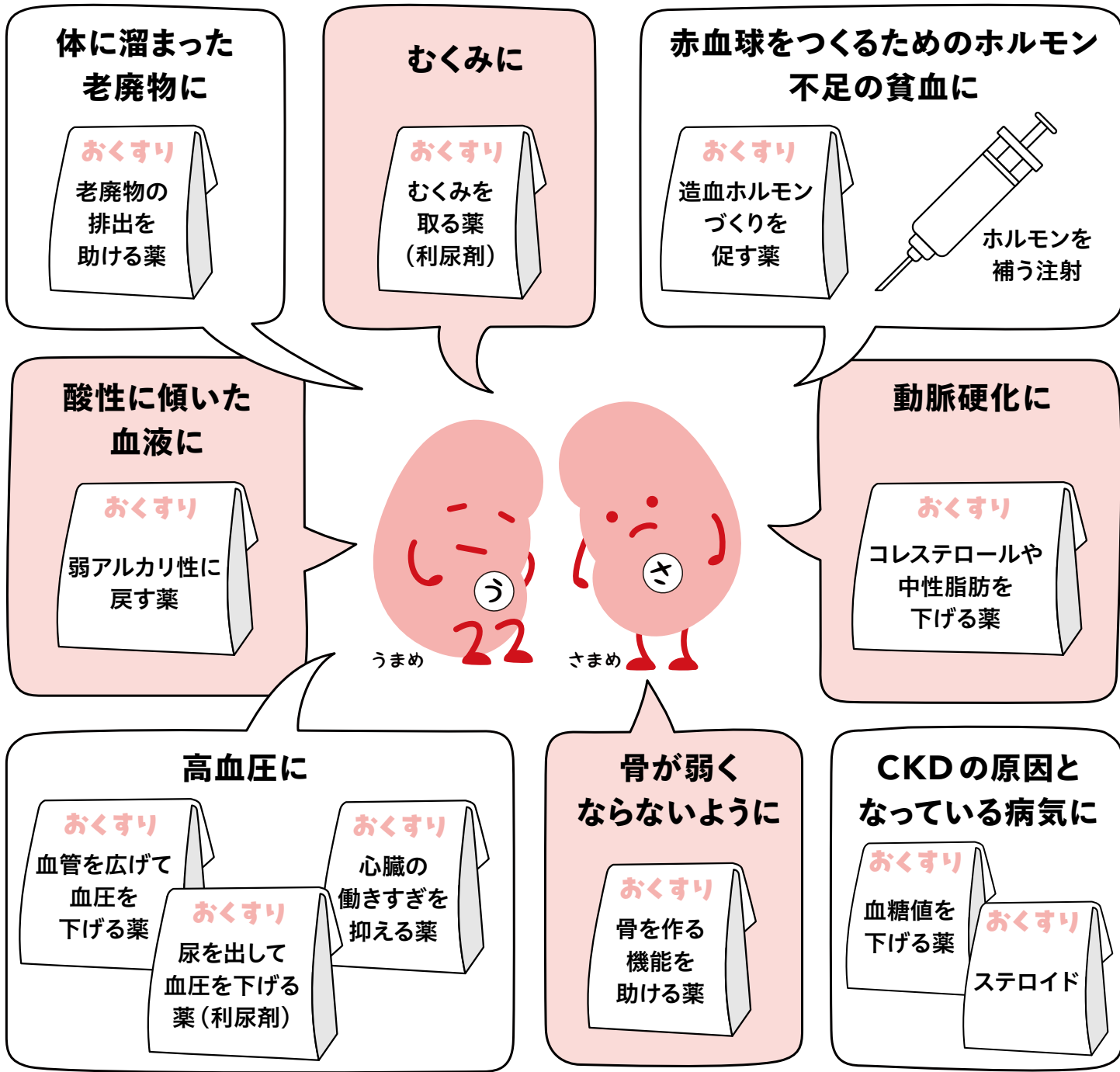
腎臓病情報サイト
「じんラボ」

じんラボ

腎臓病に関わる人の幸せのための

<https://jinlab.jp/>

薬は病状に働きかけます



**慢性腎臓病 (CKD) の薬物療法は、
腎臓が弱ることで起こる症状を改善したり、進行を遅らせたりします。**

監修 酒井 謙 北島 幸枝
東邦大学医療センター 大森病院 副院長 腎センター 主任教授 日本腎栄養代謝研究会、東京医療保健大学 医療保健学部 医療栄養学科 准教授
濱崎 祐子 坂本 杏子
東邦大学医療センター 大森病院 腎センター 教授 日本腎栄養代謝研究会、医療法人惺陽会 札幌ふしこ内科・透析クリニック 栄養部 部長